

西国街道ウォーク

第 15 回武庫川エコハイク

080614 エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km²、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門（むこみなと）」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

西国街道 京から西日本を結ぶ主要街道の一つ。京都の東寺から山崎宿(大山崎町)、芥川宿(高槻市)、郡山宿(茨木市)、瀬川宿(箕面市)、昆陽宿(伊丹市)、西宮宿(西宮市)を通り、九州へ向かっている。

大鹿(おおじか) 平安時代に坂上田村麻呂がこの辺りで大鹿を射止めたことからこの地名が生まれたという。この地区は南北朝時代に大覚大僧正の教えにより全村法華宗に改宗し妙宣寺が中心となる。水争いが何回も起きた際には全村挙げて対抗したという。

大鹿会館前の道標 西国街道と神埼(尼崎市)から伊丹を通り、東の中山・有馬道との交差点にある。

千僧(せんぞ) 奈良時代行基菩薩が昆陽上池・下池を築き、新たに田を開墾した時の工事による犠牲者の「千僧供養」を行った地からの地名である。

千僧天神社 西国街道に沿う千僧村にある。西の氏神。

首切り地蔵と庚申 首切り地蔵は大名行列の前を横切ったため首を落とされえた子どもの霊を祀っている。堂内に昆陽村の東の庚申が祀られている。

西の有馬道の道標 猪名野小学校前にあるが、もとは少し西に寄った有馬道の角にあった。今は稲野村道路元標が立っている。

東天神社と道標 東天神社は昆陽村の東の氏神。有馬道に面し、道標がある。本殿の裏に青面金剛と庚申が祀られている。

長勢橋の碑 西国街道沿いの児童公園の中にある。1864 年の蛤御門の変で敗れた長州勢がここで戦ったと言われるが定かではない。

昆陽(こや) 天兒屋根命の兒屋から来たという説や、開墾地の地名「こや」から来たともいう。江戸時代に宿場となり栄えた。

昆陽村の西の庚申 昆陽村の村はずれに位置し西の庚申として祀られている。

西天神社 昆陽村の西の氏神。参道手前に 1750 年の常夜燈がある。

青面金剛 寺本村の庚申信仰を示す青面金剛。享保 9 年(1724)の銘がある。

昆陽寺(こやでら) 行基が作った昆陽施院が発展して昆陽寺となったと思われる。伽藍は信長の有岡攻めで焼失し、江戸時代に建て直された。山門、観音堂、開山堂の広目天、多聞天立像は健の指定文化財。かつては多くの塔頭があった。

昆陽井(こやゆ) 昆陽寺の山門の前を流れるのは昆陽井川で、武庫川の昆陽井堰からここを通り市内の農地の用水路となっている。

関伽井(あかい) 昆陽寺参道の西側にあったが今は国道 171 号線で分断されている。行基がこの井戸の水で病人を治したと伝えられる。

師直塚 高師直(こうのもろなお)は足利尊氏の側近であったが、足利家内の争いにより、観応 2 年(1351)、京に向かう途中この辺りで討死したと伝えられる。

西昆陽村の青面金剛と武庫村武庫村道路元標 ここにも庚申信仰が残る。大正年間に設けられた武庫村の道路元標がある。

髭の渡しと髭茶屋 江戸時代の渡し場、江戸時代は戦略上大きな川には橋を架けず、渡しによった。武庫川も下流は生瀬の浄橋橋までは橋がなかった。西昆陽村に髭を生やした老人の茶屋があった。川越えは東から西へは常松村、西昆陽村の、西から東は段上村、神大市村の月番で受け持っていた。文政元年(1818)建立の常夜燈がある。

野間井川と六樋 武庫川左岸にあった 6 個の樋が昭和 3 年(1928)、天神川が武庫川と合流する地点の伏流水を取り「六樋」となった。上流から「野間井川」「生島井川」「武庫井川」。

床止工 勾配の急な武庫川の下流で川底が洗掘されるのを防止するために設けられている。武庫川下流に 8 個の床止工があり、ここは 7 号床止工。

常松中継ポンプ場 武庫川下流広域下水道の施設で、武庫川左岸河口にある浄化センターに中継する施設。尼崎北部の内水の排水も兼ねる。

甲武橋 明治 42 年に開通した。これにより髭の渡しは廃止された。

一里山 現在の地名一里山は一里塚の名残りと思われる。

段上町 武庫川から見て一段高い所にあるところからこの地名が出来たという。

西宮市鯨池浄水場 西宮市の浄水場で武庫川の表流水を仁川が武庫川に合流する地点の上流百間樋から取水する。百間樋は仁川の下を暗渠で横断する。

大市(おいち) 古代の武庫水門(みなと)に近く、西国街道沿いにあり市が立ち栄えた。平安時代に戎社(西宮神社)の門前町が栄えるようになるにつれ衰退した。

百間樋川 16 世紀の末、武庫川右岸の段上、上下大市、門戸、高木の地区の用水として武庫川の水を天井川仁川の下を通る木樋を伏せて導水した。

阪神水道甲東事業所 淀川から取水する阪神水道水を市内と神戸方面に送水する。

下大市の茄子頌徳碑 明治の初めから先人の努力により下大市の茄子は「おいちのなす」は有名になった。「茄子苗培養法発明家頌徳碑」

延命地蔵 永福寺前にある。江戸時代以前の地蔵像で厚い信仰を集めている。

甲山観音、門戸厄神の道標 西国街道から甲山観音の祀られる神呪寺(かんのうじ)と門戸厄神への分岐点に建つ。

尼崎、大坂への道標 この 5 叉路に尼崎方面への道標が残る。

門戸厄神 門戸厄神は関西随一の厄除け祈願の寺、弘法大師建立の高野山真言宗の寺で東光寺という。厄除け信仰は愛染明王と不動明王が合体した両頭愛染明王で国内に 3 体しかなかったが、現存するのはここだけとなっている。